

~~毎日笑顔で登園・降園!~~

第二馬前園の子どもたちは
毎日Smile!

元気いっぱいぞあ!

子どもたちの笑顔に毎日
癒されていきます😊*

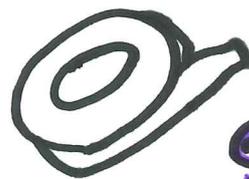
~~まずは自分で~~



ひだりてそかて。
ゆ、くりゆ、くり



~~好き嫌い100%克服~~



真剣な顔!



製作では色々な体験を

スタンプを使い、た製作でも
風船を使ったり、野菜を使
たり、粘土を足や指で
はたき、電球に体験を、
浆糊で取り組んでほしい!



✂ --- ✂ --- ✂ ---

— 4月から馬込前園と合同に —



♪

設定保育と馬込前園と合同である日も!



ほい・そら・いじり組に分かれて活動しています。

☆ 交流が増え子ども達も楽しんでいる様子



なにかよ



せいせいともなにかよ



— 園のまわりには沢山の公園があります —



☆ 上野池公園



二だま公園

分財天中公園



花と緑の学園



ヒヤリハット報告

○ちびっこランド 三田南が丘園

- ・水筒のひもが足にひっかかって転びそうになった子どもがいた。
- 水筒をかごに入れる際にはひもを水筒に巻きつけてから入れるよう子どもたちに話をしました。危険のないよう保育者もこまめにチェックしていきたいと思います。
- ・公園で拾った小さい石をポケットに入れて園に持ち帰った子どもがおり、その石を保育室で落とし他の子どもが踏みそうになった。
- 公園から帰るときは石や枝は園に持ち帰らない約束を再度子どもたちと確認しました。今後も気を付けて見ていきたいと思えます。

○西明石園

- ・1歳児の男の子が、滑り台の階段を登る途中で落ちそうになった。
- 遊具で遊ぶ際には、必ず職員が付くようにし危険がないようにする。
- ・1歳児の男の子が、クレヨンを口に入れそうになった。
- 1対1で見るのが難しい場合は、個別で活動をしたり時間をずらすようにする。

○明石伊川谷園

- ・1歳児が公園から勝手に出そうになった。
- 出入りに全体を見る保育者を配置する。
- ・3歳児がサークルをまたいで出た。
- してはいけないことだと声掛けをする。

○西宮園

- ・乳児さん、手の消毒時すぐに舐めようとする。
- 保育者がよく馴染ませて、乾くまで傍につく。
- ・1歳児が部屋を走り回って壁にぶつかったり、お友だちにぶつかりそうになる。
- 怪我につながるのを、ダメな事を繰り返し伝えていく。

○川西能勢口駅前園

- ・1歳児が0歳児に噛みつこうとした。
- 0歳児が他児の目や口に興味を持ち手を伸ばすため、注意して見ておく。
- ・セーラーのような襟を着てくる子どもがいる。
- 他児に襟を引っ張られたり、午睡中に顔をふさぐと危ないので保護者に声かけを行う、他の服に着替える。
- ・2歳児で保育室を走り回る子どもがいる。
- 他児にぶつかりそうになる時があるので集中してできる遊びに誘う。

○西明石駅前園

- ・5歳児 Mちゃん
- 公園に行く途中、踏切がある所を渡ろうとしていると、渡っている途中で踏切が鳴りだした。みんな安全に渡ることができたが5歳児のMちゃんは途中でベルに驚いて手を離そうとしていた。すぐに保育者がつかみ直したので大丈夫だったが、子どもがパニックにならないよう直接手を繋いだり、事前に安心できるような声かけをして安全に渡れるようにしたい。

○道場南口園

- ・外遊びの際、1歳児が手に持っていた石を口に入れようとしていた。
- 石など、場合によっては危険なものを持っている時はそばで見守り、状況に応じて除去する。
- ・おやつを食べ終わり移動していた2歳児が転倒した際、他の園児が座っている椅子に当たる。怪我はなかった。
- 安全に移動できるスペースを確保する。

○宝塚南口園

- ・1歳女児、1歳男児がベビーチェアで立とうとする。
- 必ず一人つく。交代の人が来てから離れる。
- ・1歳男児が給食を少しずつしか食べないのに、ししゃもの骨か何か詰まったのか、真っ赤な顔をしてむせたのでびっくりした。
- ・1歳男児が嘔むと聞いていたので目が離せない。
- ・1歳男児がベビーベッドの柵に足を掛けてのぼっていた。

○西宮えびす園

- ・ベビーベッドの柵が緩くなっている。
- 0歳児が午前睡をする際は、1歳児がベビーベッドにもたれたり柵を引っ張ったりしないよう都度伝える。
- ・保護者のお迎えの際に園児が一人で外に飛び出しそうになる。
- 必ず保護者と手を繋いで帰ることを伝える。

○西明石第2駅前園

- ・2歳児、子ども同士抱きついて、後ろに転倒しそうになった。
- 職員がそばにいて支えた。適切な距離を保てるように子どもに伝える。
- ・2歳児、入口ドアで手を挟みそうになった。
- ドアの開け閉めは必要最小限にする。開閉時は、子どもの位置を再確認して行う。
- ・1歳児、サーキットの際、自分の足につまづいてサークルにぶつかりそうになった。
- 足元がまだ不安定なので、活動の際は十分に気をつける。

○神戸枝吉園

- ・公園で遊んでいる時に、数名の園児で虫を見るのに夢中になっていたところ、一人の園児が公園の外へ出てしまっていたようで、通りがかりの方の「危ないよ」という声で気付いた。
- 事故やケガにならなかったが目を離さないようjに今後も気を付けたい。
- ・室内で過ごしている時、走り回っている園児がおりお友だちとぶつかり、右目を強く打ち赤くなった。
- すぐに保冷剤で冷やし様子をみるようにしたが大けがにつながるので、走り回らないように保育者が声かけをしっかりとしていきたい。
- ・クレヨンでお絵かき中、1歳児の子が口に入れようとしていたので気をつけて見ていく必要がある。

○ウッディタウン園

- ・ベビーベッドから上半身、乳児が乗り出そうとした。
- 安全の為、ベッドを低くした。
- ・子どもの口から出たミルクを他児が触ろうとした。
- すぐに清潔に拭く。
- ・朝の会時安全ベルトをしていた園児が挨拶をしようと立とうとして椅子から落ちそうになった。
- 挨拶の時は安全ベルトを取るなど子どものしたい気持ちを汲み取り対応する。

○夙川園

- ・散歩車前輪が溝にハマりそうになる。
- 押している職員と散歩車前方にも職員がつくようにする。先頭の職員が必ず後ろの様子も見ながら歩く。
- ・オムツがえの所で友達を押して出入りしようとする。
- スペースが狭いのでクラスごとに時間差でいくようにし、保育者がしっかり見守り声をかけていく。
- ・椅子から落ちそうになる(ほしぐみ)。
- 後ろ向きに座ろうとしたり、横向いたりとするので、座る時は前を向くことを続けてその都度伝えていく。チェアベルト必要。

○宝塚第2園

- ・朝の体操の時、3歳女兒と1歳女兒がぶつかりそうになった。
- もう少し広がって体操するように声掛けをする必要がある。